



令和7年度第10回理事会 議 事 録

令和8年3月16日

公益財団法人こうべ市民福祉振興協会

公益財団法人こうべ市民福祉振興協会

令和7年度第10回理事会 議事録

- 1 開催日時 令和8年3月16日（水）午前9時58分から午前11時37分まで
2 理事総数 総数 7名
3 出席者
理事出席者 7名 監事出席者 1名

【代表理事】1名

会長 長田淳

【業務執行理事】2名

常務理事 仲田篤司、常務理事 黒田徹

【理事】4名

荒牧重孝、金山千広、西田勉、福井誠

【監事】1名

松山康二

- 4 欠席者

【監事】1名

中村浩一郎

- 5 議題

- ・第1号議案 令和8年度事業計画及び収支予算について
- ・報告事項1 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について

- 6 議事の経過

- (1) 定足数の確認

事務局山本経営管理課長が、定款第34条第1項により、本理事会の定足数充足を確認した。

- (2) 議事録署名人の確認

事務局山本経営管理課長が、定款第35条第2項並びに理事会運営規程第13条第1項により、理事会の議事録署名人について説明し、長田会長及び出席の監事1名が議事録署名人となることを確認した。

- (3) 第1号議案 令和8年度事業計画及び収支予算について

まず第1号議案について、事務局山本経営管理課長より議案書に基づき、各事業について説明が行われた。続けて事務局北尾経営担当課長より、議案書及び参考資料に基づき説明が行われた。

質疑応答の後、議長が本議案について、承認を求めたところ、全員異議なく、原案どおり承認された。

[質疑応答]

- ・松山監事より、以下の発言があった。太山寺事業の費用減少の要因は何か。また、収支相償の弾力運用については特に適用しておらず、公益目的事業財産についても制限内であるため、特に個別に公表していないという認識で良いか。

これに対し北尾経営管理課長より、以下のとおり回答があった。太山寺事業における設備管理等の委託費の減が主な要因である。また、収支相償及び公益目的事業財産についての認識に違いはない。

- ・西田理事より、以下の発言があった。事業計画について、各事業の社会的インパクトを明確にし、KPIのような指標を取り入れることにより、しあわせの村のアピールや位置付けの明確化に繋がるのではないかと。
- ・福井理事より、以下の発言があった。事業の具体的な目標と達成率が見えなければ評価し難く、KPIの設定には賛成である。大学でも科目の実施のみでは評価されず、社会実装の実現というところにしあわせの村と類似の課題が見えるため、大学との連携によるUDe スポーツの活用等については今後期待する。
- ・金山理事より、以下の発言があった。とある地方自治体では建て替え予定の施設において、設立当初のビジョンから脱却ができずにいる。しあわせの村についても当初のソーシャルインクルージョンからの新規性が乏しく、神戸市は、老朽化が目立つひよどり台団地を取り込む形で地域活性化を目指してほしい。また、福祉事業は費用対効果では図れないのでベネフィットを図り、PDCAのサイクルを大学と一緒に検討してほしい。

これらに対し、仲田常務理事より、以下のとおり回答があった。神戸市の施策を補完する立場でありながら、個々の事業の成果目標について市との共有ができていない連携不足もあり、これらを明確にしなければKPIも定められない。また、ひよどり台団地との連携については市のまちづくりの中で、しあわせの村の役割を果たしていきたい。さらに、予算について、資金ベースでは黒字となっているが、毎年市へ返済しているサン舞子マンション事業における9千万円の借入金を含めると、収支予算では赤字となっている。中期経営計画並の黒字は確保しているものの、前年度予算比9百万円の赤字であり、要因としては、太山寺事業終了や人件費高騰が大きい。一方で、指定管理料の増額や運営指導業務の受託料の増額があったためこの程度の赤字にとどまった。

- ・福井理事より、以下の発言があった。神戸市バスの見直しにおけるしあわせの村への影響についてはどうか。

これに対し仲田常務理事より、以下のとおり回答があった。来村者に占めるバス利用割合は比較的少なく、昨年の(株)ウエルネスサプライが運営する無料シャトルバス減便時にも売上げに影響はなかった。駐車場収入については、市内の他の有料公園における値上げもあり視野に入れていきたいが、一方で、村の在り方を検討していく中で神戸市と連携しながら慎重に考えなければならない。

- ・西田理事より、以下の発言があった。しあわせの村についてSWOT分析を行ったとして、例えばこころのアート展事業で、脚光を浴びつつあるアール・ブリュットの国際展やコンテストを開催することにより、世界へしあわせの村を発信しブランディングするチャンスとなる。また、障害者の将来の生活における安定についても確保できるのではないかと。
- ・金山理事より、(株)ヘラルボニーという知的障がい者のアート作品を取り扱うブランドの情報紹介があった。

これに対し仲田常務理事より、以下のとおり回答があった。来年度第15回目を迎え

るこころのアート展事業で検討中であるが、市内の IT 事業者(就労継続支援 A 型事業所)が、障がい者アートのオークションの仕組みを構築したため、共同で何かできないかと提案を受けている。障がい者の安定的な生活も目的の一つとしている。

- ・福井理事より、以下の発言があった。アール・ブリュットや(株)ヘラルボニーのようなものを取り入れていくことにより、過去に設定された目的がリニューアルされることを感じる。また、オークションについては、障がい者アートの価値が認められるということは、このしあわせの村という場所の意味・意義の認知を見直していく良い機会になるのではないか。

(4) 報告事項 1 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について

報告事項 1 について、山本経営管理課長より、議案に基づき説明が行われた。

(5) その他

①坂井事業課長より保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺に係る現状報告について説明が行われた。

②徳岡調査指導課長より介護保険認定調査業務次期委託者募集に係る報告について説明が行われた。

③石野マネジャーより神戸市シルバーカレッジに係る現状報告について説明が行われた。

[質疑応答]

- ・金山理事より、以下の発言があった。シルバーカレッジにおける定員充足率資料についてどのようなになっているか。

これに対し長田会長より、理事会後、資料に追記し E メールにて報告する旨、回答があった。

- ・長田会長より、シルバーカレッジについてはすでに市が抜本的な見直しの検討に着手している旨の補足があった。

(6) その他 2

- ・松山監事より、以下の発言があった。定款第 11 条第 4 項における実際の運用についてどのようなになっているか。

これらに対し長田会長より、理事会後、的確な回答を E メールにて報告する旨、回答があった。

- ・荒牧理事より、以下について発言があった。トリム園地での安全管理についてどのようなになっているか。

これに対し井上管理担当課長より、以下のとおり回答があった。公園での軽微な怪我は連絡があれば救急箱で対応する。利用方法については掲示にて検討する。

以上をもって理事会のすべての審議を終了したので、午後 11 時 37 分、議長が閉会を宣した。

令和 7 年度第 10 回理事会 議案資料

日 時 令和 8 年 3 月 16 日 (月)
10 時 00 分

場 所 しあわせの村本館・宿泊館 2 階特別会議室

本書は原本と相違ないことを証明する

公益財団法人 こうべ市民福祉振興

会長 長 田



公益財団法人 こうべ市民福祉振興協会

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び監事が記名押印する。

令和8年3月16日

議長(会長) 長 田

監 事 松 山 康 二



目 次

- ・ 第1号議案 令和8年度事業計画及び収支予算について … 1
- ・ 報告事項1 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について … 10

第 1 号 議 案

令和 8 年度事業計画及び収支予算について

財政状況の改善、組織風土の変革・人材育成などの取り組みについて定めた「中期経営計画2027」（令和 5 年 9 月策定）を着実に推進するとともに、「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念にのっとり、神戸市、事業者及び市民の三者が有する人材、資力などを総合的に活用することによって市民福祉を振興するための事業を創造・推進し、市民福祉の向上に寄与することを目的として事業を実施する。

令和 8 年度事業計画

【公益目的事業】

[公1] 市民福祉を振興するための事業

「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念を実現し、ソーシャルインクルージョンの実現を図るため、市民に対する福祉意識の啓発や、市民の福祉活動を振興する事業を実施する。

また、しあわせの村の指定管理者として、高齢者・障がい者をはじめとするすべての市民が、「つどい」・「楽しみ」・「学び」・「憩う」ことができるよう総合福祉ゾーンとしての管理運営の充実を図る。

1 しあわせの村における市民福祉事業

(1) 高齢者・障がい者が主役の村づくり

① 神戸市シルバーカレッジの運営

「再び学んで他のために」をモットーに、健康ライフ、国際交流・協力、ECOライフ、総合芸術の 4 つのコースの専門授業と、全コースの学生を対象とした社会貢献などの共通授業やスポーツ授業を実施する。

また、在学生や卒業生の社会貢献活動を通じて小学校での児童の見守りなどの学校運営支援活動や地域のリーダーとなる人材の育成に取り組む。

健康ライフコース [定員] 100人

国際交流・協力コース [定員] 100人

ECOライフコース [定員] 100人

総合芸術コース（4専攻） [定員] 140人（各専攻35人）

② こころのアート展・こころのアートギャラリー

障がい者の自らを表現する機会を創出し活躍の場を広げるとともに、市民の障がい者に対する理解を深めることを目的に、芸術活動に取り組む障がい者を公募し作品展を開催する。

また、本館・宿泊館2階の「こころのアートギャラリー」において常設展を開催するほか、三宮中央通り地下通路の「サンボチカギャラリー」などしあわせの村外での企画展を開催する。

さらに、「こころのアート展」が15年目を迎えるにあたり、記念事業を実施する。

③ 障がい者事業所製品の販売支援

本館・宿泊館1階コンビニエンスストアに併設する「はっぴねすコーナー」において、市内障がい者事業所製品の販売を行う。

また、村内障がい者施設による「缶バッジ☆マグネット製作隊」の活動を支援する。

④ ボランティア活動の推進

様々な世代の市民にしあわせの村においてボランティアとして活動いただき、市民福祉活動の推進を図る。

(2) 障がい者スポーツの振興

障がいのある人もない人も共にスポーツを楽しみ、相互理解を深めることを目指し、気軽にスポーツを楽しむことができるイベントを関係団体との共催で実施する。

また、障がい者の健康増進、心身機能の維持・向上や生きがいづくりを目的に、各種スポーツ教室を実施する。

(3) 障がい理解の啓発

① 福祉体験学習

市民の思いやりの心を育み、福祉について学ぶための機会づくりを目的に、学校・地域団体等を対象に、障がいを理解するための体験やしあわせの村におけるあらゆる利用者に配慮した取り組み等の紹介など、しあわせの村の資源を活かした「福祉体験学習」を実施する。

② こども手話講座

コミュニケーション手段としての手話を学ぶ機会を提供することを目的として、小学生を対象とした「こども手話講座」を実施する。

(4) 子どもの成長支援

① 野外活動を通じた支援

障がいのある子どもとその家族が野外でのキャンプやレクリエーション活動を楽しみ、交流を図ることを目的とした「家族で楽しむキャンプ入門」を実施する。

② のびのび運動ひろば

発達の気になる児童（小学1・2年生）とその保護者への支援として、専門家や専門機関との連携により、簡単な運動プログラムの提供や、保護者に対する専門家による講座や保護者間交流の場の提供を行う「のびのび運動ひろば」を実施する。

③ 子育て支援駐車料金無料化

神戸市の支援を受け、18歳未満の子どもとともにしあわせの村を利用した場合の普通車駐車料金を無料化する。

(5) しあわせの村の活性化

① しあわせの村まつり

村内事業者・施設や近隣自治会と連携し、市民の交流を促すステージや縁日、手持ち花火等で構成するイベントを実施する。

② こうべ福祉・健康フェア

市民の福祉や健康に関する意識を高めるため、神戸市、神戸市社会福祉協議会やふれあいのまちKOBE・愛の輪運動推進委員会などと連携し、福祉施設や障がい者団体等によるバザーや模擬店、福祉機器の展示や子ども向けの体験イベントなどを行う。

③ ミニコンサート

公募により選ばれた演奏者によるミニコンサートをしあわせの村開村記念日及びこちらのアート展の開催に合わせ実施する。

④ 市民福祉活動支援・しあわせの村利活用促進

福祉・NPO団体等が、市民の交流や福祉の推進を目的としてしあわせの村で実施する活動に対する支援を行う。また、利活用促進の取組みとして、市民・団体を対象にイベント等の企画を募集し、自らが実施する機会を提供する。

⑤ 豊かな自然環境の活用

「いやしの小径」や日本庭園をはじめとするしあわせの村の公園施設を活用し、桜や紅葉のライトアップや農業体験などのイベントを通じて「自然から得られる癒やし」を提供する。

「ユニバーサル農園」においては、障がい者の機能回復等を目的として、村内の福祉施設の高齢者や障がい者、児童に野菜の栽培や収穫等の農園活動の体験機会を提供する。

⑥ 広報・広聴

ホームページ、SNSやプレスリリース等の様々な広報媒体や機会を活用してしあわせの村の取り組みや魅力を効果的に発信し、来村者の増加を図る。また、現在の利用者像や利用状況等を把握し、今後の来村者増加に向けた施策に活用するため、アンケート調査を実施する。

⑦ 大学との連携

地域を学生の学びの場とする「地域共創科目」を実践する神戸親和大学の学生を、しあわせの村内の事業者と連携して受け入れ、各施設の課題解決や学生との交流機会の創出に取り組むとともに、同大学の知見・人材を活用した「しあわせの村市民公開講座」を実施するなど、大学と連携し、しあわせの村の活性化を図る。

⑧ eスポーツの活用

障がいの有無や世代に関わらず、誰もが簡単な操作で楽しみながら運動機能や認知機能の向上が期待できる「UDe-スポーツ」を活用し、来村者相互の交流機会を創出する。

2 その他の市民福祉事業

(1) ユニバーサルデザイン（UD）の普及啓発

市内の小学校を対象にユニバーサルデザインの考え方を伝え、体験を通じて学ぶ「UD出前授業」を実施する。

(2) 高齢者の文化活動の振興

高齢者の健康増進に向けて文化活動の機会を提供するため、「こうべシルバー合唱フェスティバル」を開催する。

(3) 社会還元活動への支援

川崎重工業(株)からの寄附金を基に造成した基金の運用益を活用し、シルバーカレッジの学生及び卒業生の社会還元活動を支援する。

[公2]介護保険法、障害者総合支援法に基づき実施する事業

1 介護保険認定調査業務

市内全域における介護保険サービスの受給を新たに申請する市民及び要介護度の変更を申請する市民に対して訪問・調査を行う「要介護認定調査業務」を神戸市との業務請負契約により実施する。

2 介護保険事業者運営指導業務、障害福祉サービス事業者運営指導業務

介護保険法に基づく市内介護保険事業者に対する運営指導業務の一部と、障害者総合支援法に基づく市内障害福祉サービス事業者に対する運営指導業務の一部を神戸市より受託し実施する。

【収益事業等】

指定管理施設に付帯する便益施設の運営等

1 しあわせの村内便益施設の運営

- ① 有料駐車場（約1,600台）
- ② 屋外アドベンチャー遊具（民間事業者と連携し設置）

2 神戸市シルバーカレッジ施設の一般供用

収 支 予 算 書
(正味財産予算書)
令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	803,000	803,000	0	
基本財産受取利息	803,000	803,000	0	
②特定資産運用益	640,000	335,000	305,000	
特定資産受取利息	640,000	335,000	305,000	
③事業収益	1,268,690,000	1,313,421,000	△ 44,731,000	
受託料収入	1,159,747,000	1,149,441,000	10,306,000	運営指導受託料の増
参加料・受講料収入	5,587,000	6,211,000	△ 624,000	
協賛広告等収入	3,215,000	3,230,000	△ 15,000	
賃貸収入	0	52,800,000	△ 52,800,000	太山寺事業の運営休止による減
使用料収入	99,531,000	101,119,000	△ 1,588,000	
その他事業収入	610,000	620,000	△ 10,000	
④受取補助金等	58,174,000	53,936,000	4,238,000	
受取地方公共団体補助金	58,174,000	53,936,000	4,238,000	
⑤受取負担金	57,668,000	58,819,000	△ 1,151,000	
事業負担金	57,668,000	58,819,000	△ 1,151,000	
⑥雑収益	1,635,000	1,475,000	160,000	
雑収益	1,635,000	1,475,000	160,000	
経常収益計	1,387,610,000	1,428,789,000	△ 41,179,000	
(2) 経常費用				
①事業費	1,342,920,000	1,370,636,000	△ 27,716,000	
役員報酬等	5,940,000	5,939,000	1,000	
職員給料手当	512,391,000	513,314,000	△ 923,000	
非常勤職員賃金	64,355,000	62,532,000	1,823,000	
退職給付費用	8,686,000	4,996,000	3,690,000	
福利厚生費	93,086,000	95,820,000	△ 2,734,000	
旅費交通費	6,451,000	8,023,000	△ 1,572,000	
什器備品購入費	2,095,000	3,982,000	△ 1,887,000	
消耗品費	37,797,000	41,223,000	△ 3,426,000	
修繕費	44,044,000	49,006,000	△ 4,962,000	
印刷製本費	3,283,000	3,947,000	△ 664,000	
研修費	155,000	390,000	△ 235,000	
光熱水料費	53,343,000	53,910,000	△ 567,000	
使用料及び賃借料	45,772,000	46,732,000	△ 960,000	
委託費	295,201,000	292,525,000	2,676,000	
通信運搬費	7,868,000	9,116,000	△ 1,248,000	
保険料	2,897,000	3,141,000	△ 244,000	
広報費	3,662,000	3,139,000	523,000	
報償費	36,867,000	36,660,000	207,000	
減価償却費	32,407,000	50,454,000	△ 18,047,000	償却資産の減
租税公課	79,233,000	78,010,000	1,223,000	
助成金及び負担金	3,195,000	3,020,000	175,000	
支払手数料	42,000	61,000	△ 19,000	
支払利息	4,150,000	4,696,000	△ 546,000	

収 支 予 算 書
(正味財産予算書)
令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
②管理費	43,243,000	39,401,000	3,842,000	
役員報酬等	13,989,000	10,611,000	3,378,000	
職員給与手当	7,559,000	7,716,000	△ 157,000	
非常勤職員賃金	686,000	815,000	△ 129,000	
退職給付費用	394,000	189,000	205,000	
福利厚生費	2,737,000	3,066,000	△ 329,000	
旅費交通費	408,000	215,000	193,000	
什器備品購入費	150,000	40,000	110,000	
消耗品費	158,000	130,000	28,000	
研修費	299,000	230,000	69,000	
使用料及び賃借料	4,810,000	5,177,000	△ 367,000	
委託費	7,871,000	7,790,000	81,000	
通信運搬費	100,000	100,000	0	
保険料	275,000	246,000	29,000	
広報費	400,000	364,000	36,000	
減価償却費	991,000	427,000	564,000	
助成金及び負担金	694,000	694,000	0	
支払手数料	1,502,000	1,503,000	△ 1,000	
交際費	220,000	88,000	132,000	
經常費用計	1,386,163,000	1,410,037,000	△ 23,874,000	
評価損益等調整前当期經常増減額	1,447,000	18,752,000	△ 17,305,000	
評価損益等計	0	0	0	
当期經常増減額	1,447,000	18,752,000	△ 17,305,000	
2. 經常外増減の部				
(1) 經常外収益	0	0	0	
經常外収益計	0	0	0	
(2) 經常外費用	0	0	0	
經常外費用計	0	0	0	
当期經常外増減額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	1,447,000	18,752,000	△ 17,305,000	
法人税・住民税及び事業税	172,000	8,025,000	△ 7,853,000	
当期一般正味財産増減額	1,275,000	10,727,000	△ 9,452,000	
一般正味財産期首残高	△ 45,889,000	△ 56,616,000	10,727,000	
一般正味財産期末残高	△ 44,614,000	△ 45,889,000	1,275,000	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用収入	803,000	803,000	0	
特定資産運用収入	1,133,000	453,000	680,000	
一般正味財産への振替額	△ 1,303,000	△ 1,103,000	△ 200,000	
当期指定正味財産増減額	633,000	153,000	480,000	
指定正味財産期首残高	510,925,000	510,772,000	153,000	
指定正味財産期末残高	511,558,000	510,925,000	633,000	
III 正味財産期末残高	466,944,000	465,036,000	1,908,000	

収 支 予 算 書 内 訳 表

(正味財産予算書内訳表)
令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計		法人会計	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	小計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
①基本財産運用益							803,000	803,000
基本財産受取利息							803,000	803,000
②特定資産運用益	500,000			500,000			140,000	640,000
特定資産受取利息	500,000			500,000			140,000	640,000
③事業収益	460,081,000	410,673,000		870,754,000	397,936,000	397,936,000		1,268,690,000
受託料収入	451,279,000	410,673,000		861,952,000	297,795,000	297,795,000		1,159,747,000
参加料・受講料収入	5,587,000			5,587,000				5,587,000
賞賛広告等収入	3,215,000			3,215,000				3,215,000
貸貸収入								
使用料収入					99,531,000	99,531,000		99,531,000
その他事業収入					610,000	610,000		610,000
④受取補助金等	8,539,000			8,539,000			49,635,000	58,174,000
受取地方公共団体補助金	8,539,000			8,539,000			49,635,000	58,174,000
⑤受取負担金	954,000			954,000	56,714,000	56,714,000		57,668,000
事業負担金	954,000			954,000	56,714,000	56,714,000		57,668,000
⑥雑収益	453,000			453,000	1,150,000	1,150,000	32,000	1,635,000
雑収益	453,000			453,000	1,150,000	1,150,000	32,000	1,635,000
経常収益計	470,527,000	410,673,000		881,200,000	455,800,000	455,800,000	50,610,000	1,387,610,000
(2) 経常費用								
①事業費	492,544,000	446,331,000		938,875,000	404,045,000	404,045,000		1,342,920,000
役員報酬等	5,940,000			5,940,000				5,940,000
職員給料手当	151,692,000	299,030,000		450,722,000	61,669,000	61,669,000		512,391,000
非常勤職員賃金	23,991,000	12,602,000		36,593,000	27,762,000	27,762,000		64,355,000
退職給付費用	5,017,000	1,050,000		6,067,000	2,619,000	2,619,000		8,686,000
福利厚生費	28,418,000	50,300,000		78,718,000	14,368,000	14,368,000		93,086,000
旅費交通費	908,000	5,543,000		6,451,000				6,451,000
什器備品購入費	1,008,000	59,000		1,067,000	1,028,000	1,028,000		2,095,000
消耗品費	13,610,000	7,462,000		21,072,000	16,725,000	16,725,000		37,797,000
修繕費	17,857,000	1,216,000		19,073,000	24,971,000	24,971,000		44,044,000
印刷製本費	2,728,000	177,000		2,905,000	378,000	378,000		3,283,000
研修費	64,000	5,000		69,000	86,000	86,000		155,000
光熱水料費	29,368,000	258,000		29,626,000	23,717,000	23,717,000		53,343,000
使用料及び賃借料	6,440,000	25,330,000		31,770,000	14,002,000	14,002,000		45,772,000
委託費	138,064,000	1,122,000		139,186,000	156,015,000	156,015,000		295,201,000
通信運搬費	2,729,000	3,136,000		5,865,000	2,003,000	2,003,000		7,868,000
保険料	1,056,000	455,000		1,511,000	1,386,000	1,386,000		2,897,000
広報費	1,816,000	1,087,000		2,903,000	759,000	759,000		3,662,000
報償費	36,806,000			36,806,000	61,000	61,000		36,867,000
減価償却費	1,490,000	655,000		2,145,000	30,252,000	30,252,000		32,407,000
租税公課	21,467,000	36,339,000		57,806,000	21,427,000	21,427,000		79,233,000
助成金及び負担金	2,075,000	453,000		2,528,000	667,000	667,000		3,195,000
支払手数料		42,000		42,000				42,000
支払利息					4,150,000	4,150,000		4,150,000

収 支 予 算 書 内 訳 表
(正味財産予算書内訳表)
令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計		法人会計	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	小計		
②管理費							43,243,000	43,243,000
役員報酬等							13,989,000	13,989,000
職員給料手当							7,559,000	7,559,000
非常勤職員賃金							686,000	686,000
退職給付費用							394,000	394,000
福利厚生費							2,737,000	2,737,000
旅費交通費							408,000	408,000
什器備品購入費							150,000	150,000
消耗品費							158,000	158,000
研修費							299,000	299,000
使用料及び賃借料							4,810,000	4,810,000
委託費							7,871,000	7,871,000
通信運搬費							100,000	100,000
保険料							275,000	275,000
広報費							400,000	400,000
減価償却費							991,000	991,000
助成金及び負担金							694,000	694,000
支払手数料							1,502,000	1,502,000
交際費							220,000	220,000
経常費用計	492,544,000	446,331,000		938,875,000	404,045,000	404,045,000	43,243,000	1,386,183,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 22,017,000	△ 35,658,000		△ 57,675,000	51,755,000	51,755,000	7,367,000	1,447,000
評価損益等計								
当期経常増減額	△ 22,017,000	△ 35,658,000		△ 57,675,000	51,755,000	51,755,000	7,367,000	1,447,000
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計								
(2) 経常外費用								
経常外費用計								
当期経常外増減額								
他会計振替額			38,744,000	38,744,000	△ 38,744,000	△ 38,744,000		
税引前当期一般正味財産増減額	△ 22,017,000	△ 35,658,000	38,744,000	△ 18,931,000	13,011,000	13,011,000	7,367,000	1,447,000
法人税・住民税及び事業税					172,000	172,000		172,000
当期一般正味財産増減額	△ 22,017,000	△ 35,658,000	38,744,000	△ 18,931,000	12,839,000	12,839,000	7,367,000	1,275,000
一般正味財産期首残高								△ 45,889,000
一般正味財産期末残高								△ 44,614,000
II 指定正味財産増減の部								
基本財産運用収入							803,000	803,000
特定資産運用収入	1,133,000			1,133,000				1,133,000
一般正味財産への振替額	△ 500,000			△ 500,000			△ 803,000	△ 1,303,000
当期指定正味財産増減額	633,000			633,000				633,000
指定正味財産期首残高								510,925,000
指定正味財産期末残高								511,558,000
III 正味財産期末残高								466,944,000

資金調達及び設備投資の見込みについて

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

1 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定はありません。

2 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定はありません。

報告事項 1

代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について

報告者

代表理事（会長） 長田 淳

業務執行理事（常務理事） 仲田 篤司

業務執行理事（常務理事） 黒田 徹

一般法人法第91条第2項(同法第197条において準用する第91条第2項)及び定款第23条第5項の規定に基づく代表理事及び代表理事以外の業務執行理事の自己の職務の執行状況に関する報告は下記のとおりである。

記

年 月	主な執行・決裁事項等	長田 会長	仲田 常務理事	黒田 常務理事
令和7年6月	第49回きたきたまつり *(7日)	○	○	
	神戸在宅医療・介護推進財団理事会 *(13日)		○	
	令和7年度第2回評議員会(20日)	○	○	○
	神戸市社会福祉協議会評議員会 *(26日)	○		
令和7年7月	こうべ長寿祭総会(2日)	○	○	
	しあわせの村運営共同事業体運営委員会(23日)	○	○	
	神戸市外郭団体に関する特別委員会 (31日)		○	
令和7年8月	星和台夏まつり *(3日)		○	
	ひよどり台夏まつり *(16日)		○	
	令和7年度神戸市社会福祉大会 *(21日)	○		
令和7年9月	しあわせの村まつり(13-15日)	○	○	
	令和7年度神戸市老人クラブ大会 *(18日)	○		
令和7年10月	こうべシルバー合唱フェスティバル 2025 (7日)	○		
	シルバーカレッジ学園祭 (11日)	○		○
令和7年11月	わんぱく！プロジェクト『ミュージックパーク』(2日)	○	○	
令和7年12月	こころのアート展オープニングセレモニー(4日)	○	○	
令和8年2月	しあわせの村市民公開講座(3日)	○	○	○
	令和7年度第9回理事会(13日)	○	○	○
令和8年3月	令和7年度第10回理事会(16日)	○	○	○
随 時 開 催	幹部会(9回)・しあわせの村連絡調整会議(9回)	○	○	○
随 時 開 催	契約事務審査委員会(16回)		○	

(報告期間：令和7年6月2日から令和8年3月16日 *：外部団体主催行事への出席・参加)

令和8年度事業体系及び予算概要

(単位：百万円)

事業区分・事業	8年度予算		
	収益	費用	損益
公益目的事業会計	881	939	△ 58
公1 市民福祉を振興するための事業	471	493	△ 22
1 しあわせの村における市民福祉事業 (高齢者・障がい者が主役の村づくり、障がい者スポーツの振興、障がい理解の啓発、子どもの成長支援、 しあわせの村の活性化)			
2 その他の市民福祉事業 (ユニバーサルデザイン(UD)の普及啓発、高齢者の文化活動の振興、社会還元活動への支援)			
公2 介護保険法、障害者総合支援法に基づき実施する事業	411	446	△ 36
1 要介護認定調査業務			
2 介護保険事業者運営指導業務、障害福祉サービス事業者運営指導業務			
収益事業等会計	456	404	52
収1 指定管理施設に付帯する便益施設の運営等			
1 しあわせの村内便益施設の運営 (駐車場、屋外アドベンチャー遊具)			
2 神戸市シルバーカレッジ施設の一般供用			
法人会計	51	43	7
当期経常増減額	1,388	1,386	1
当期経常外増減額	0	0	0
法人税等	-	0	0
当期一般正味財産増減額	1,388	1,386	1
当期指定正味財産増減額	1	0	1
正味財産増減額	1,388	1,386	2

○ 公益目的事業比率

939百万円 / 1,386百万円 = 67.7%

○ 収支相償

公益目的事業損益	△58百万円
+ 収益事業利益繰入額	39百万円
	△19百万円

資金収支予算書
令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位: 千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
公益目的事業会計			
(公1)			
①事業収入	8,802	9,441	△ 639
②受託等収入	459,818	464,726	△ 4,908
③負担金収入	954	458	496
④雑収入	1,586	918	668
⑤特定資産取崩収入	70,500	82,115	△ 11,615
(公1) 当期収入合計	541,660	557,658	△ 15,998
①福祉啓発事業費	22,572	41,577	△ 19,005
②長寿祭事業費	10,793	16,668	△ 5,875
③しあわせの村事業費	451,848	455,823	△ 3,975
④特定資産取得支出	5,017	2,890	2,127
(公1) 当期支出合計	490,230	516,958	△ 26,728
(公1) 当期収支差	51,430	40,700	10,730
(公2)			
①受託等収入	410,673	404,083	6,590
(公2) 当期収入合計	410,673	404,083	6,590
①要介護認定調査事業費	364,714	380,850	△ 16,136
②運営指導事業費	79,104	54,650	24,454
③特定資産取得支出	1,050	286	764
(公2) 当期支出合計	444,868	435,786	9,082
(公2) 当期収支差	△ 34,195	△ 31,703	△ 2,492
(公共)			
①繰入金収入	38,744	24,322	14,422
(公共) 当期収入合計	38,744	24,322	14,422
(公共) 当期支出合計	0	0	0
(公共) 当期収支差	38,744	24,322	14,422
公益目的事業会計当期収入合計	991,077	986,063	5,014
公益目的事業会計当期支出合計	935,098	952,744	△ 17,646
公益目的事業会計当期収支差	55,979	33,319	22,660
収益事業等会計			
①事業収入	100,141	154,539	△ 54,398
②受託等収入	297,795	289,089	8,706
③負担金収入	56,714	58,250	△ 1,536
④雑収入	1,150	1,086	64
⑤特定資産取崩収入	0	17,959	△ 17,959
収益事業等会計当期収入合計	455,800	520,923	△ 65,123
①市民福祉施設運営事業費	12,448	43,575	△ 31,127
②しあわせの村事業費	358,137	375,880	△ 17,743
③特定資産取得支出	2,619	1,820	799
④借入金返済支出	90,000	100,676	△ 10,676
⑤法人税等支出	172	8,025	△ 7,853
⑥繰入金支出	38,744	24,322	14,422
収益事業等会計当期支出合計	502,120	554,298	△ 52,178
収益事業等会計当期収支差	△ 46,320	△ 33,375	△ 12,945

(単位：千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
法人会計			
①基本財産運用収入	803	803	0
②受託等収入	49,635	45,479	4,156
③雑収入	172	70	102
④特定資産取崩収入	0	1,496	△ 1,496
法人会計当期収入合計	50,610	47,848	2,762
①管理費	46,624	40,281	6,343
②特定資産取得支出	394	189	205
法人会計当期支出合計	47,018	40,470	6,548
法人会計当期収支差	3,592	7,378	△ 3,786
予備費支出	0	0	0
当期収入合計	1,497,487	1,554,834	△ 57,347
当期支出合計	1,484,236	1,547,512	△ 63,276
当期収支差	13,251	7,322	5,929
前期繰越収支差額	10,676	3,354	7,322
次期繰越収支差額	23,927	10,676	13,251

法人協会の印

山

